科目名	日常生活活動評価学	担当教員	山中 正紀 世古 俊明 ※印は実務経験のある教員を示す。

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	2年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR21AE	②					

科目概要	本科目では、「日常生活活動学（理学療法）」で学んだことを基に、ADL評価バッテリーや動作分析方法について学習する。対象者の有する動作能力および問題点を客観的に測定し、分析する能力を養う。
学習目標	① 日常生活活動評価の目的、種類、方法を理解し、説明することができる。 ② 日常生活活動の基本動作の観察・分析を理解し、正常性と異常性を説明することができる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験教員担当項目
1	ADL 関連評価	ADL、IADL 評価バッテリー	各種の評価バッテリーおよび評価方法を理解し、説明できる。	
2	ADL 評価	Functional Independence Measure (FIM)	FIM の評価方法を理解し、説明できる。	
3	基本動作①	姿勢の観察および分析	姿勢の観察・分析を理解し、理想的姿勢および不良姿勢を説明できる。	
4	基本動作②	寝返り・起き上がり動作の観察および運動分析	寝返り・起き上がり動作の観察・分析を理解し、その正常性と異常性を説明できる。	
5	基本動作③	立ち上がり動作の観察および運動分析	立ち上がり動作の観察・分析を理解し、その正常性と異常性を説明できる。	
6	基本動作④	歩行動作の観察および運動分析 1	歩行動作を運動学的・運動力学的に理解し、正常歩行を説明できる。	
7	基本動作⑤	歩行動作の観察および運動分析 2	歩行動作の観察・分析し、その正常性と異常性を説明できる。	
8	基本動作⑥	階段昇降動作の観察および運動分析⑥	階段昇降動作の観察・分析を理解し、その正常性と異常性を説明できる。	

評価方法	筆記試験（100%）
課題に対するフィードバック	1 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する（フィードバック）。 2 試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。
教科図書	隈元庸夫・著『症例動作分析』ヒューマンプレス株式会社、2017 年
参考図書	奈良勲、鶴見隆正・著『標準理学療法学専門分野 日常生活活動学・生活環境学 第4版』医学書院、2012年 細田多穂・監『シンプル理学療法学シリーズ 日常生活活動学テキスト 改訂第 2 版』南江堂、2014 年 伊藤利之、他・編『新版日常生活活動（ADL）－評価と支援の実際－』医歯薬出版株式会社、2010年
学習の準備	1 （予習）ADL 評価の内容および教科書の該当箇所を熟読しておくこと（90 分） 2 （復習）授業中に配布した資料を見直し、専門用語の意味等を理解しておくこと（90 分）
オフィスアワー	火曜日 11 時半から 13 時 その他在室時はいつでも可

担当教員欄に※印を附した教員の実務経験	